



1階鑑賞室 定員30名 先着順 無料 14:00～(13:30開場)

1月10日(金) 名作映画鑑賞会

「独裁者」 (1940年・劇映画・モノクロ・126分)

※日本語字幕上映

1月17日(金) 金曜映画会

「国宝「鳥獣人物戯画」」

(1990年・教養・カラー・60分)

1月23日(木) 郷土に親しむ映画会

「城跡にたつ 忍城(さきたまの丘から)」 (1983年・教養・カラー・20分)

「武州松山城 戦国の攻防」 (1983年・教養・カラー・20分)

1月31日(金) レコード鑑賞会

「思い出のシネマ・ミュージック」

(60分) ※音楽鑑賞会です。

お問い合わせ

埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

TEL048-523-6291



駐車台数に限りがあるため公共交通機関での来館にご協力ください。埼玉県のマスコット
コバトン



名作映画鑑賞会

1月10日(金)

14:00～

「独裁者」

(劇映画・モノクロ・126分)



— 語りかける —

大戦に従軍していたトメニアのチャーリーは、同じ軍のパイロットを救い飛行機に同乗しますが、着陸の事故により、全ての記憶を失ってしまいます。復員したチャーリーは、ユダヤ人街で前職の床屋を再び始めますが、世の中は独裁者ヒンケルの時代でユダヤ人の迫害を行っていました。突撃部隊に抵抗するチャーリーでしたが、縛り首にされそうになる直前で助けられます。助けたのは部隊を指揮するシュルツで大戦中にチャーリーが救ったパイロットだったのです。再会した二人は意気投合します。その後、シュルツはヒンケルの命令に従わず、収容所送りにされ、チャーリーも同じく捕らわれますが、二人は脱獄に成功します。その後、なぜかヒンケルの替え玉を演じることとなります。

※この作品は県立久喜図書館のDVDです。

金曜映画会

1月17日(金)

14:00～

「国宝「鳥獣人物戯画」」 (教養・カラー・60分)

12世紀ごろの日本で誕生し、国宝に指定された「鳥獣人物
とばそうじょうかくゆう
戯画」。作者は鳥羽僧正覚猷と伝えられていますが、いまだ
はっきりとはしていません。内容はすすきの刀を手に猿を追い
かけるうさぎなどで、動物や人などをおおらかな筆致で描い
た、日本における戯画作品の草分け的存在です。ここでは現存
する絵巻の構成が、描かれた当時と異なるのではないかという
学説を元に断簡（文書の切れはし）や各種残されている模本を
もとに絵巻物の謎に迫ります。

※この作品は16ミリフィルムです。

郷土に親しむ映画会

1月23日(木)

14:00～

「城跡にたつ 忍城(さきたまの丘から)」 (教養・カラー・20分)

現在の行田市にある忍城。豊臣方から水攻めを受け、最終的に
は豊臣方の軍門にくだることとなります。この映画では忍城跡を
巡りながら、当時の面影をたどります。

※この作品は16ミリフィルムです。

「武州松山城 戦国の攻防」 (教養・カラー・20分)

現在の吉見町にある武州松山城は、比企丘陵や川などに囲まれ
た天然の要害であり、この城を巡り、さまざまな戦いが繰り広げ
られました。ここでは吉見町の旧跡や武州松山城を巡り、城の仕
組みなどを解説していきます。

※この作品は16ミリフィルムです。

レコード鑑賞会

1月31日(金)

14:00～

「思い出のシネマ・ミュージック」

(音楽鑑賞会・60分)

当館で16,000点以上所蔵しているレコードの中から、テーマを決めて様々な音楽をお届けする「レコード鑑賞会」。今回は「思い出のシネマ・ミュージック」と題して、『ゴッド・ファーザー』や『風と共に去りぬ』『ひまわり』など、懐かしの名作を彩った曲の数々をお届けします。映画が好きな方、音楽を存分に聴きたい方など、ぜひお越しください。

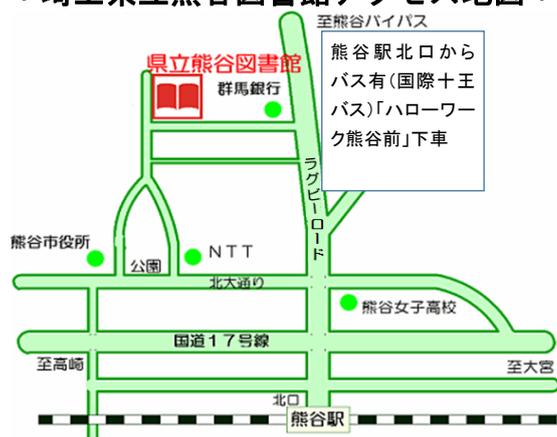


※映画ではありません。

* 2月の映画会 *

2月7日(金)	名作映画鑑賞会	14:00～	「ベトナムの風に吹かれて」(カラー・114分)
2月14日(金)	金曜映画会		「スズさん 昭和の家事と家族の物語」(カラー・86分)
2月21日(金)	郷土に親しむ映画会		「生きもの 金子兜太の世界」(カラー・46分)
2月27日(木)	木曜映画会		「岩合光昭の世界ネコ歩き あるがままに、水と大地のネコ家族」(カラー・98分)

* 埼玉県立熊谷図書館アクセス地図 *



公共交通機関でのご来館にご協力ください。

(上映する作品は変更となる場合があります。)

編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

TEL 048-523-6291

埼玉県立図書館WebサイトURL

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

2024.12月発行